

報告

2016 年度中国四国支部集会

小田 玄（中国四国支部運営委員）

1. はじめに

2017年6月10日（土曜日）・11日（日曜日）の二日間、鳥取県鳥取市佐治町のさじアストロパーク・佐治天文台に於いて、2016年度の中国四国支部集会が開催されました。今年度は鳥取県開催ということで、スタートしたのですが、開催場所決定に少し手間取り、案内が遅くなってしまいました。中四国の5県から、18名の参加がありました。全員がさじアストロパーク内に宿泊し、残念ながら天候のせいで十分に星は見られませんでした。密度の濃い時間を過ごすことができました。

2. プログラム

特別なテーマを設けることはしていませんが、法人化に関する議論もあり、さじアストロパークのお世話で、密度の濃い内容で実施することができました。

(1) 開催趣旨

天文教育や天文普及に関する研究協議と情報交換の場を設ける。

(2) 開催期日

2017年6月10日（土）13時
～11日（日）14時

(3) 会 場

さじアストロパーク
鳥取県鳥取市佐治町高山 1071-1
佐治天文台 1階会議室

(4) 主 催

天文教育普及研究会 中国四国支部

(5) 後 援

さじアストロパーク

(6) 地元世話人（実行委員）*：実行委員長

- * 山西正博（さじアストロパーク副所長）
- 宮本敦（さじアストロパーク）
- 相本実（さじアストロパーク）
- 織部隆明（さじアストロパーク）
- 遠藤博伸（さじアストロパーク）

(7) 日 程

- 6月10日（土曜日）13時開始
（さじアストロパーク・佐治天文台1階会議室）
- 13:00～13:30 開会
支部長あいさつ、自己紹介、近況報告、
実行委員長 山西さんのあいさつ
- 13:30～14:10 講演会
「星取県の取組み」
鳥取県観光戦略課・井田広之さん
- 14:20～15:50 研究発表（25分+質疑5分）
- 発表1
観望会実施時の安全・安心確保と法的
対応の現状（繪堂 晃さん）
- 発表2
プラネタリウムを用いた天文教育
（香川大学教育学部・松村雅文さん）
- 発表3
徳島における天文教育普及
（徳島県立あすたむらんど・安藤 徹さん）
- 16:00～17:30 法人化に関する議論
情報提供（松尾 厚さん）
- 17:30～18:00 事務協議
中国四国支部の今後の活動、支部集会の
次期開催地について等
- 夜：情報交換会 コスモスの館
- 6月11日（日曜日）9時頃開始
（さじアストロパーク・佐治天文台1階会議室）
- 9:10～10:40 研究発表（25分+質疑5分）
- 発表4

天文教育におけるドーム投影システムの開発（岡山理科大学・加藤真奈さん、森原早有理さん、福田尚也さん）

発表 5

20cm 級望遠鏡で観測した巨大星黒点を持つ食連星うしかい座 TZ 星
（岡山理科大学・大島 修さん）

発表 6

実写を使った星の学習について
（さじアストロパーク・宮本 敦さん）

エクスカッション（隼神社）

14 時頃解散



図 1 自己紹介の風景

3. 講演会

「星取県の取組み」と題して、鳥取県観光戦略課の井田広之さんより講演がありました。井田さんは、地方創生の分野で活躍され、鳥取県庁入庁後は、鳥取県の星空と宇宙をテーマにした地域活性化構想を提唱し、県公式プロジェクト「星取県」を実現されました（この活躍は、Forbes JAPAN でスーパー公務員 12 人として紹介されています）。人口は少ないが、多くの観光資源を有する鳥取県が、星の見えやすさ日本一に輝いたことを利用し、星を中心に据えた観光戦略を展開したことについての説明を頂きました。天教の目指すところと被る演題に、参加者は熱心に耳を傾け、活発な質疑応答がありました。



図 2 井田さんの講演

4. 研究発表

参加者の普段からの熱心な活動を示すような発表が 5 件ありました。

広島 of 繪堂さんは観望会などでの事故や訴訟の実例を挙げ、観望会における事故対策や危機管理の必要性を熱く訴えられました。普段の観望会などで、ただ星を見ていただいで喜んでいただくことだけについて集中しがちなので、考えさせられた発表でした。

岡山理科大学の発表はプラネタリウムなどを投影できる球形スクリーンとしてのドームの開発についてでした。会では珍しい学生の発表で、システムの問題点や、可能性について熱心な質疑応答がありました。

岡山の大島さんの食連星の光度観測の発表では、不思議な光度変化を示すうしかい座 TZ 星についての考察が示され、巨大黒点の存在を考慮した新しい解釈に、これも熱心な質疑応答が繰り広げられました。

さじアストロパークの宮本さんの発表では、収録されている動画アーカイブを実際に利用している人も多く、動画の取得法などにも興味が集まりました。

5. 天文教育普及研究会法人化に関する議論

山口県立博物館の松尾さんのリードで、最も重要な議題の一つである会の法人化についての質疑応答が熱心に繰り広げられました。

6. 情報交換会

併設のペンションの食堂で行われた情報交換会では、素晴らしい食事と音楽に包まれた夢のような空間で、主に天文に関する貴重な情報を交換し合いました。会は舞台を変えて天文台付きのコテージで続けられ、結局星は十分に堪能できませんでしたが、話し合いは延々と続きました。

7. エクスカーション

皆さんお楽しみのおクスカーションは、隼神社への訪問でした。



図3 隼駅

頑張っている“はやぶさ2”への応援とあって訪れると、同じ名前の二輪車があるとのことで、バイク乗りの聖地となっており、隼駅の観光化と相まって、不思議な雰囲気の間となっていることが随分と楽しめました。

8. おわりに

忙しい業務の時間を割いて熱心に準備いただき、最高の環境をご提供いただいた宮本さんをはじめとするさじアストロパークの皆様には、感謝の念に堪えません。この場を借りて改めて御礼申し上げます。今度は、さじアストロパークを拠点として、星三昧の時間を楽しみに「星取県」をゆっくりと訪れてみたいものだと思いました。

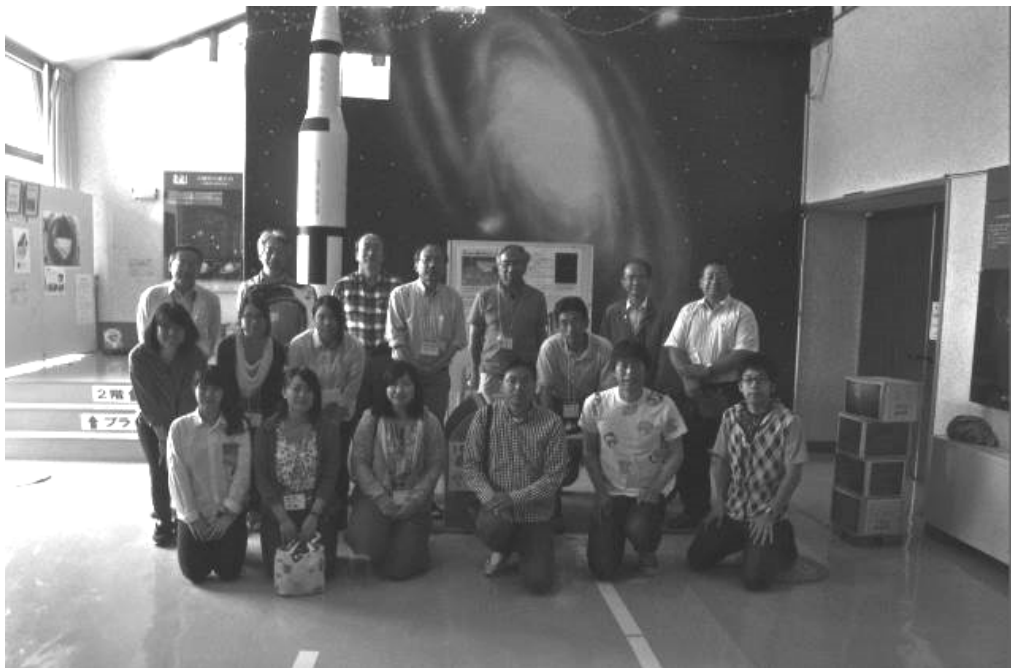


図4 集合写真